

報道関係各位

2018年2月8日  
さくらインターネット株式会社

**さくらインターネット、スマートシティ・スマートビル向け  
データ流通システムの実証実験の一環として、  
福岡地所の物件で2018年3月からビル関連データの取得・公開を開始**

さくらインターネット株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役 田中 邦裕）は、福岡地所株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役 榎本 一郎）が管理する物件にて、ビル関連データの取得・公開を、2018年3月から1年間（予定）実施します。

当社は、データ分析と活用により効率的な都市運営やビル利用を図るスマートシティ・スマートビルの実現を目指し、自治体や公共機関、民間業者が保持するデータを組み合わせ、オープンに活用できるようにするためのデータ流通システムの実証実験<sup>※1</sup>を2018年3月から実施予定です。本件はこの実験の一環となります。

今回、当社は、福岡地所が管理を行うキャナルシティ博多（博多区住吉）内において、移動人数や人の動線などを計測するセンサーを設置し、取得した人流計測データ<sup>※2</sup>を公開します。まず共用通路における人流計測データ公開から始め、ビル管理システムの各種データに対象を拡張し、将来的には対象となるビルを増やしていく予定です。なお、センサーの設置および取得したデータの公開などは、さくらインターネットの組織内研究所であるさくらインターネット研究所が行います。

公開したビル関連データをデータ流通基盤上で分析・活用いただくことにより、周辺ビルを含めた地域で、人流・物流計測データを活用した建築設計計画、販売促進や物流効率、ならびにエネルギー利用効率の改善などが期待されます。

また、実際の現場データをもとにデータ流通基盤を運用・利用することで得た知見やノウハウを、当社が関係団体にフィードバックをしていくことで、スマートシティ・スマートビル実現に貢献することを目指してまいります。



写真1：人流センサー設置箇所（現場写真）

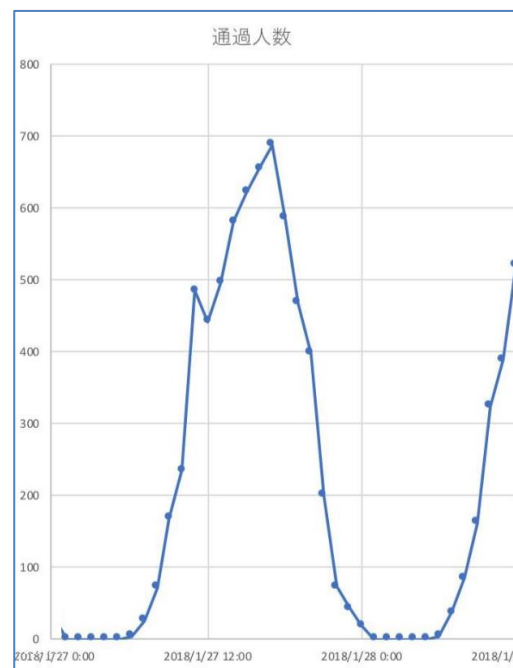


写真2：取得データの様子

※1 EU の次世代インターネット官民連携プログラムで開発・実装された基盤ソフトウェア「FIWARE」を活用した  
スマートシティ・スマートビル向けのデータ流通システムの共同実証実験。

【参考】 NEC とさくらインターネット、FIWARE を活用したスマートシティ・スマートビル向けデータ流通システムの実証実験を開始：[https://www.sakura.ad.jp/press/2017/1205\\_fiware-nec/](https://www.sakura.ad.jp/press/2017/1205_fiware-nec/)

※2 通過情報を元にしたデータであり、顔などの個人は特定しません。

※プレスリリースに掲載されている内容は発表時点の情報です。その後、予告せず変更となる場合があります。

#### ■さくらインターネット株式会社について

本 社：大阪府大阪市北区大深町 4 番 20 号

設 立：1996 年 12 月 23 日

従業員：417 名

資本金：22 億 5,692 万円

売上高：139 億 6,197 万円（平成 29 年 3 月期）

URL：<https://www.sakura.ad.jp/>

#### ■この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

さくらインターネット株式会社 広報担当

TEL：03-5332-7072 E-mail：[press-ml@sakura.ad.jp](mailto:press-ml@sakura.ad.jp)